

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2014年7月19日）

本日は、台風が近づきつつあるとのことで、曇空の中、弘前を出発しました。参加者は、市民参加者24名、学生9名、教員1名の34名でした。とくに本日は、全盲のランナー・秋田修さんを講師としてお招きし、また市民団体『みんなで歌おう・うたごえひろば』の方たちをお迎えしての活動であったため、バスの中にはにぎやかな雰囲気に包まれていました。

花輪サービスエリアで休憩をとったあと、バスの中では自己紹介を行いました。市民ボランティアの方からは、指笛を交えての自己紹介があったり、印象に残る、楽しい自己紹介をしていただきました。その後、学生事務局が作成した活動記録のDVDを上映し、栗原から野田村支援・交流活動の経緯や内容について、説明を行いました。



道の駅「おりつめ」での記念撮影

この日の活動は、全盲のランナー秋田修さんによる講演、市民ボランティアの方による唄を通じた交流会・茶話会、児童クラブでの学習支援と中学生向け学習支援ボランティア、および仮設住宅退去後の清掃ボランティアを行いました。

野田中学校仮設集会所では、午前中は秋田さんの講演が行われました。『私は眼が視えないだけ・・・です ～プラス思考で生き抜け～』との題目で、ご自身が全盲となられた事故の様子、その後のリハビリ生活・職業訓練の様子、フルマラソン参加の様子、いくつもの悲しい体験などをお話してくださいました。とくに、「関心を持って、感性を磨き、感動して、感謝する」とのお話に、当たり前の日常を過ごす中でも、このような姿勢がとても大切であることを教えていただきました。

午後からは、『みんなで歌おう・うたごえひろば』の市民ボランティアの方々の演奏で、合唱をしました。アコーディオン、ギター、指笛など、いろいろな楽器の伴奏が加わり、古くから歌われている曲や誰もが一度は歌ったことがある童謡、また最後には『弘前市民の歌』をみんなで合唱し、童心

に返るような、充実したひと時を過ごしました。

児童クラブの活動では、約 15 名の子どもたちが参加して、体育館で一緒にサッカーやかくれんぼをしました。伸び伸びと身体を動かす子どもたちの元気な声が体育館いっぱいに響きわたっていました。また、児童クラブ室では、学生ボランティアと約 3 名の子どもたちが、まわり将棋などを楽しく遊んでいました。



秋田修氏による講演の様子



茶話会での合唱の様子



仮設住宅の清掃の様子



児童クラブでの活動の様子

仮設住宅の清掃ボランティア作業では、水道が使用できない箇所もあり、外から重たい水を運んで掃除したり、湿気のためにカビなどが多い箇所を、きれいに清掃してくださいました。また、野田村の住民の方には、差し入れをいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、栗原にとって今回 2 回目の参加となり、まだ不慣れなことも多い中、滞りなく活動ができたのは、市民・学生ボランティア参加者のご協力、野田村社会福祉協議会のご協力、ドライバーさんとバスガイドさんのご協力、また学生事務局の適確な運営によるものと思います。みなさんのご協力に心から感謝申し上げます。

(担当:栗原由紀子)